



おかじままさのぶ
岡島政信 議員
OKAJIMA Masanobu

Q. プラスチック回収方法の変更を

A. 分別、収集方法を検討

令和4年5月に行われた町政に関する住民懇談会の資料には「ごみの排出量が54市町村中45位」「ごみのリサイクル率は54市町村中35位」であること、また「地域のサロン活動においても、ごみ減量について担当職員の説明を受け、皆で話し合うなど関心が高いこと」が明記された。

このことから、ごみ減量に向けて、長い目で見て、今から着実に根の張った解決策を進めて行く必要性を強く感じたので、質問をする。

◎ 家庭系ごみ排出量において、一人一日あたりの推移は、平成27年度、6100g、平成30年度、614g、令和2年度、620gとほぼ横ばい状態となっている。



減少に転じていくには、町民への更なる意識づけなどが必要と思う。特に、町の未来を担っていく子どもたちへの意識づけは、非常に重要である。当局の考えは。

◎ きれいなまちづくり条例が令和4年10月1日から施行された。これは、協働によるきれいなまちづくりの推進のため、快適な生活環境の確保に寄与することを目的としている。

◎ 引き続き、小さなお子さんも対象にした事業や啓発を充実していきたい。

◎ きれいなまちづくり条例が令和4年10月1日から施行された。これは、協働によるきれいなまちづくりの推進のため、快適な生活環境の確保に寄与することを目的としている。

快適な生活環境の確保を

現するために、町民などを巻き込んだ事業を実施しては。

◎ 名古屋市の令和6年4月からプラスチック一括回収を行うと発表した。豊山町も回収方法を変更してはどうか。

◎ 名古屋市の令和6年4月からプラスチック一括回収を行うと発表した。豊山町も回収方法を変更してはどうか。

◎ 名古屋市の令和6年4月からプラスチック一括回収を行うと発表した。豊山町も回収方法を変更してはどうか。

方法は、令和4年4月に施行された法律を踏まえ、町民の皆さまがプラスチック類を一括で排出できるよう、ルート確保や資源収集の仕組みについて調査、検討を進めている。

◎ 名古屋市の令和6年4月から、プラスチック類の収集方法を一括収集へ変更する予定である」と聞いている。



ごみ焼却を行っている名古屋市北名古屋工場